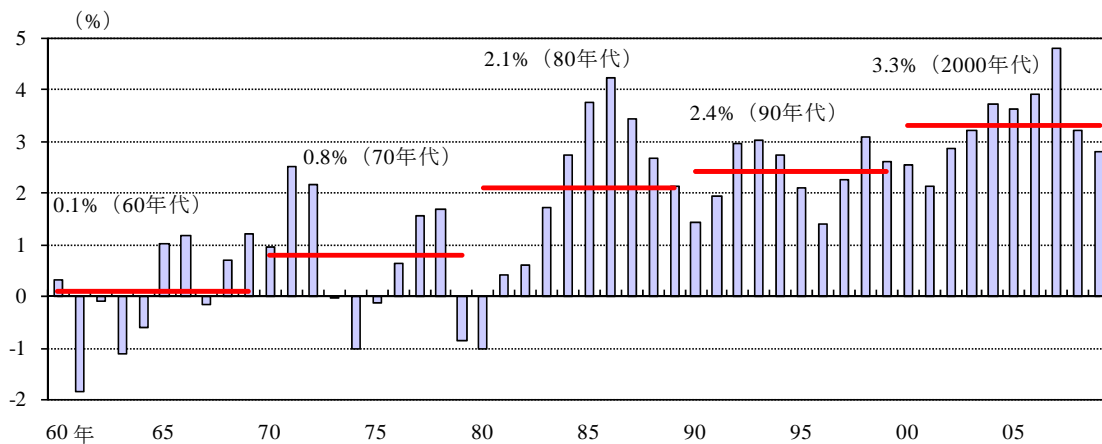
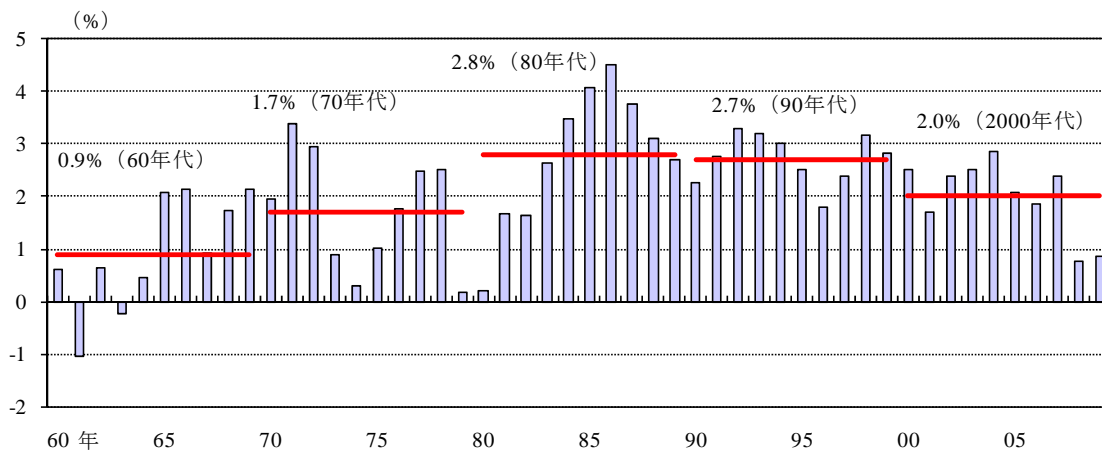


(図表 1) 日本の経常収支の対GDP比率の推移



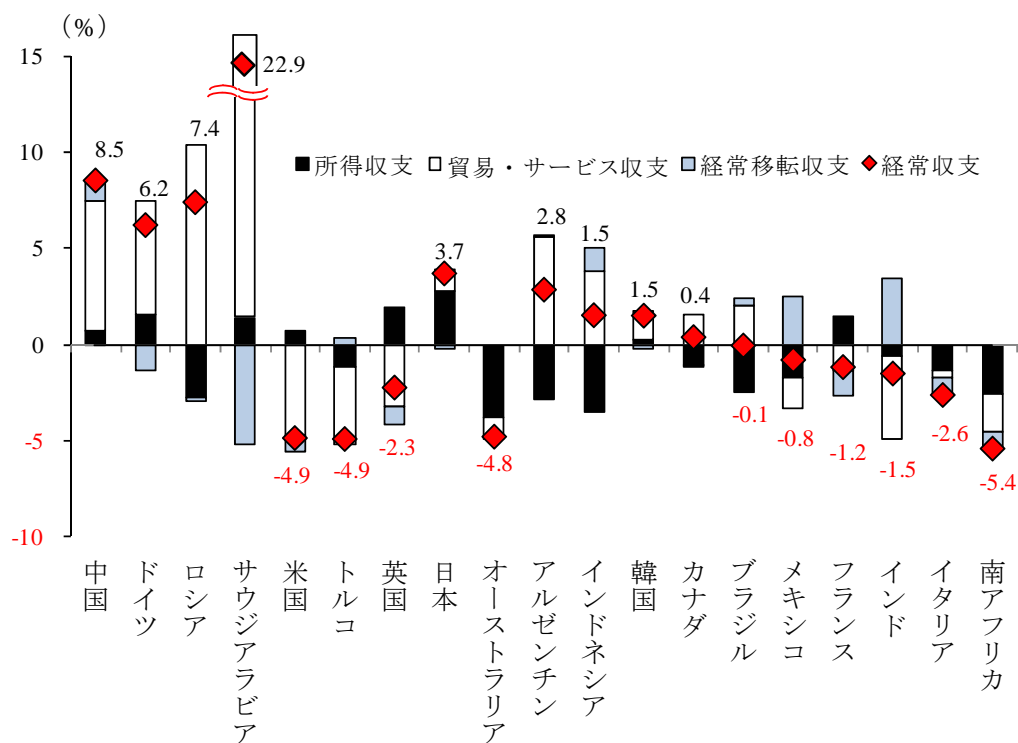
(資料) 日本銀行「本邦経済統計」、CEIC

(図表 2) 日本の貿易収支の対GDP比率の推移



(資料) CEIC

(図表 3) G20 各国の経常収支の内訳

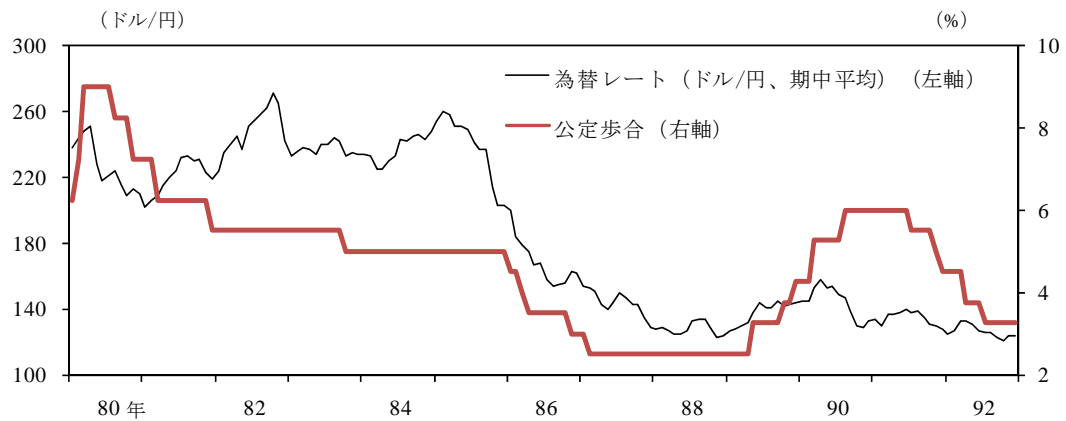


(注) 対名目 GDP 比率の 2005～2009 年の期間平均。計算の基になる 2009 年計数は IMF による推計値。

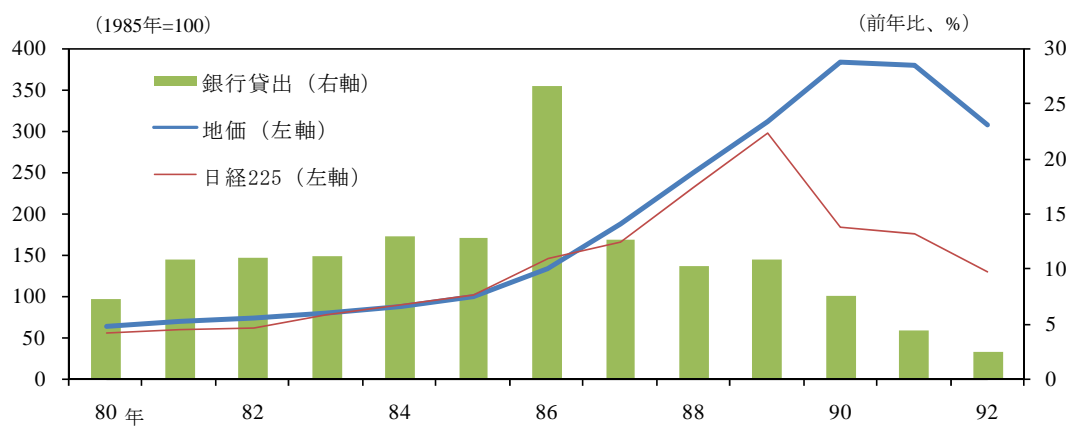
(資料) IMF, “World Economic Outlook”, CEIC

(図表 4) 日本の主要経済指標

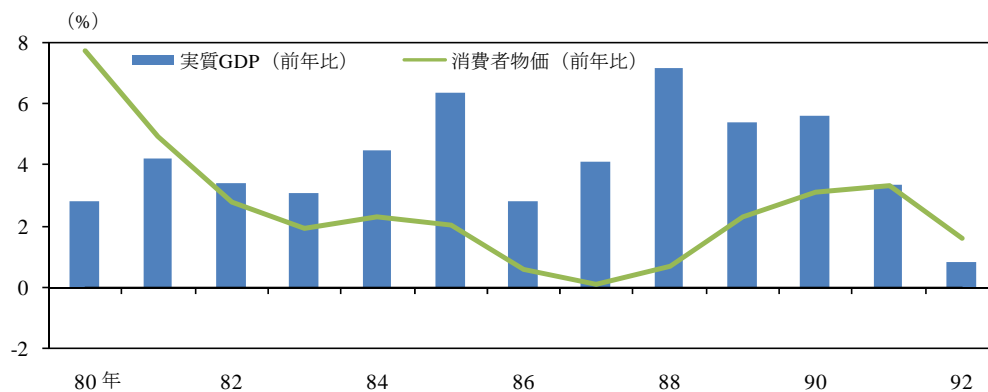
<為替レートと公定歩合>



<資産価格と銀行貸出>

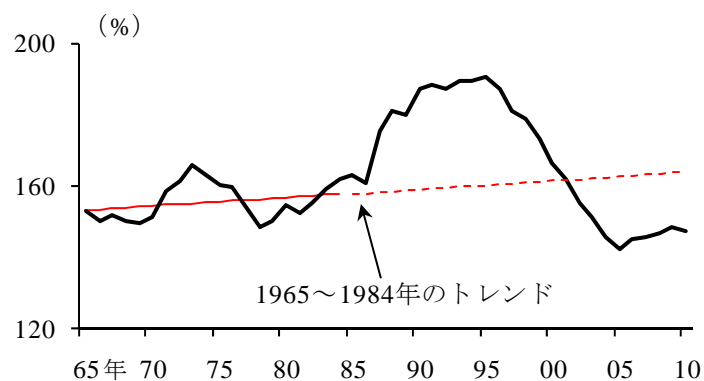


<実質 GDP と消費者物価>



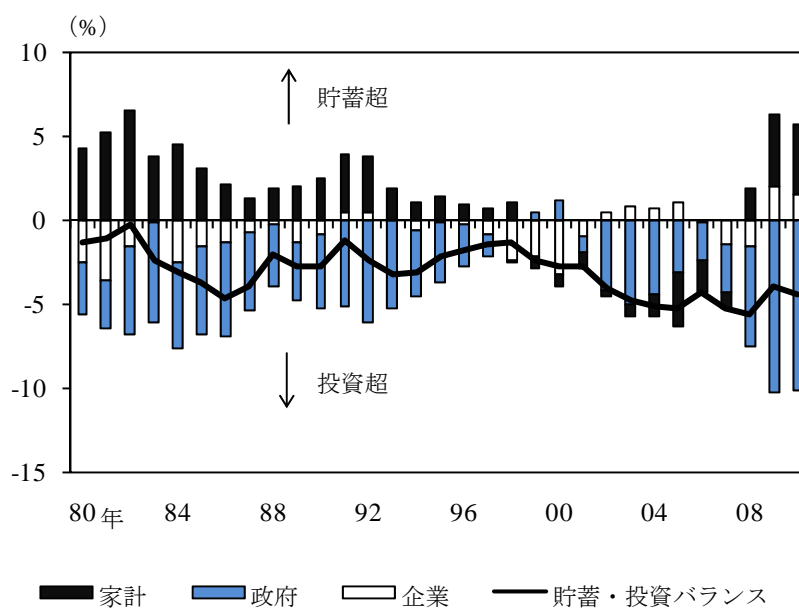
(資料) 総務省「消費者物価指数」、日本銀行「経済統計年報」、CEIC

(図表 5) 日本企業の負債残高の対 GDP 比率



(資料) 日本銀行「資金循環統計」、内閣府「国民経済計算」

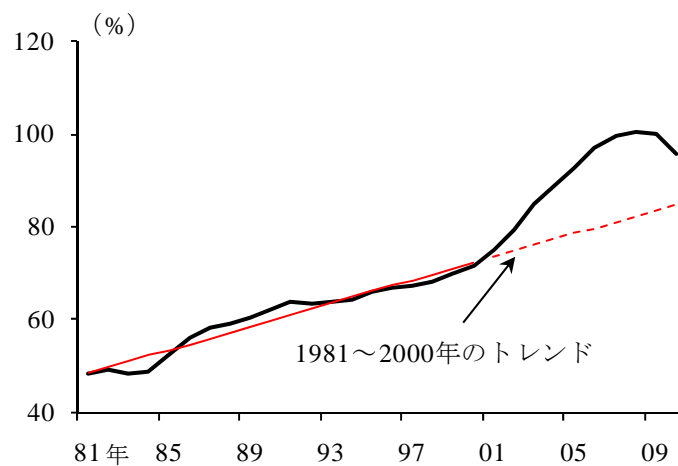
(図表 6) 米国の貯蓄・投資バランスの推移



(注) 対 GDP 比率。貯蓄・投資バランス+統計上の誤差=経常収支。

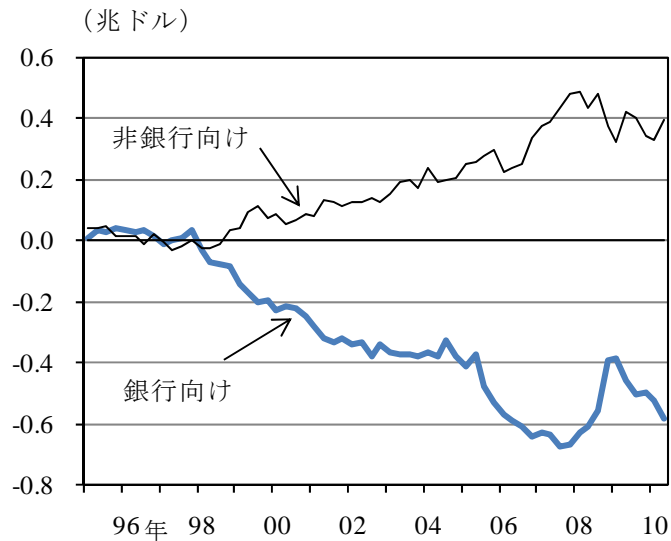
(資料) Bureau of Economic Analysis, “National Income and Product Account”

(図表 7) 米国家計の負債残高の対 GDP 比率



(資料) Federal Reserve, “Flow of Funds Accounts”

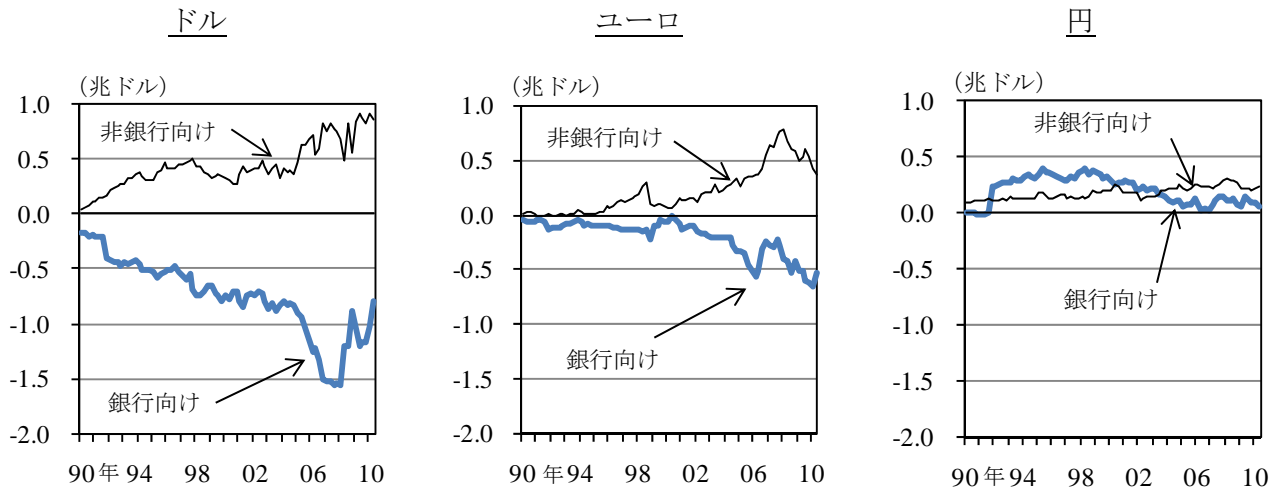
(図表 8) ユーロ圏における銀行のドル建て対外債権残高の推移



(注) 直近の値は、2010年第2四半期。

(資料) BIS「国際資金取引統計」

(図表 9) 世界における銀行の対外債権残高の推移 (通貨別)



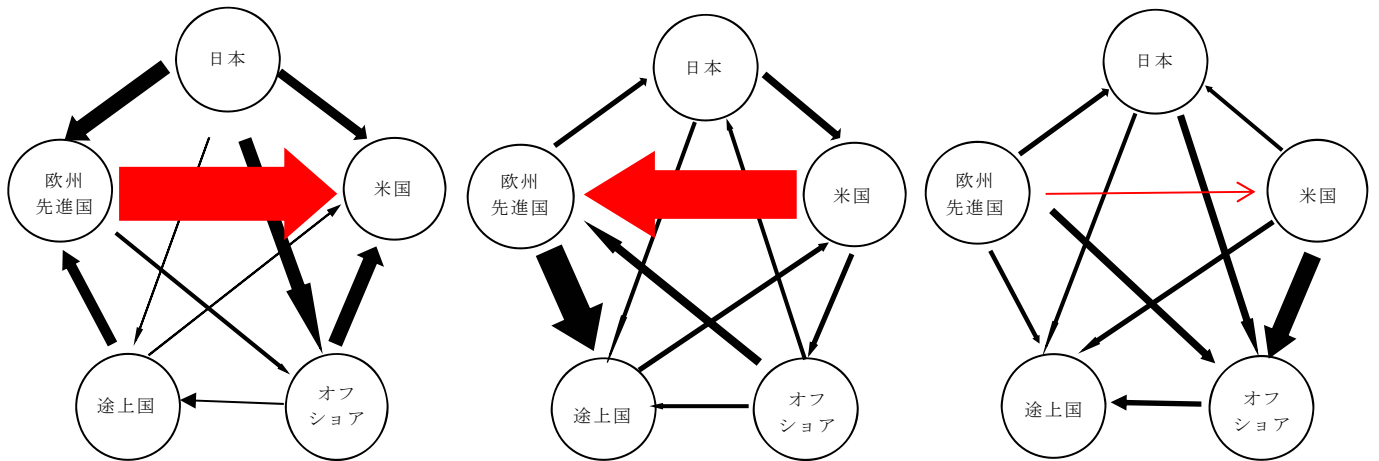
(注) 直近の値は、2010年第2四半期。
 (資料) BIS「国際資金取引統計」

(図表 10) 銀行を通じた国際的な資金の流れ

2000/4Qから 07/2Qの変化

2007/2Qから 09/3Qの変化

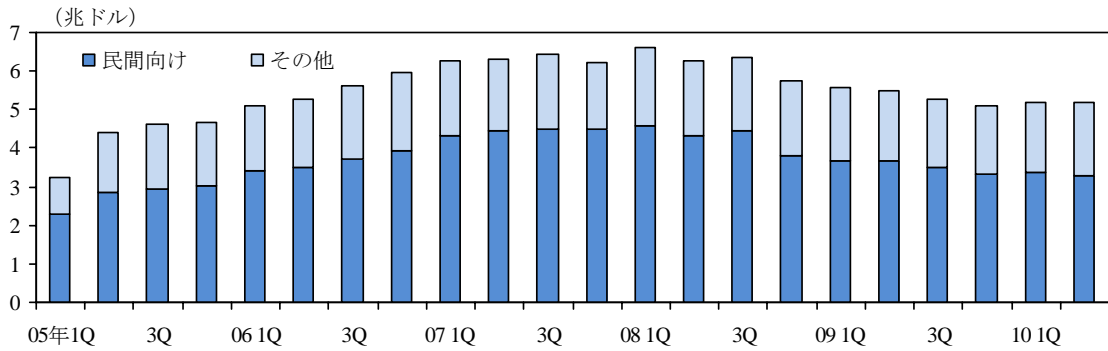
2009/3Qから 10/2Qの変化



(注) 矢印は銀行間の債権の変化を示し、その向きは債権者から債務者への資金の流入を、その太さは資金の大きさを示す。

(資料) BIS「国際資金取引統計」

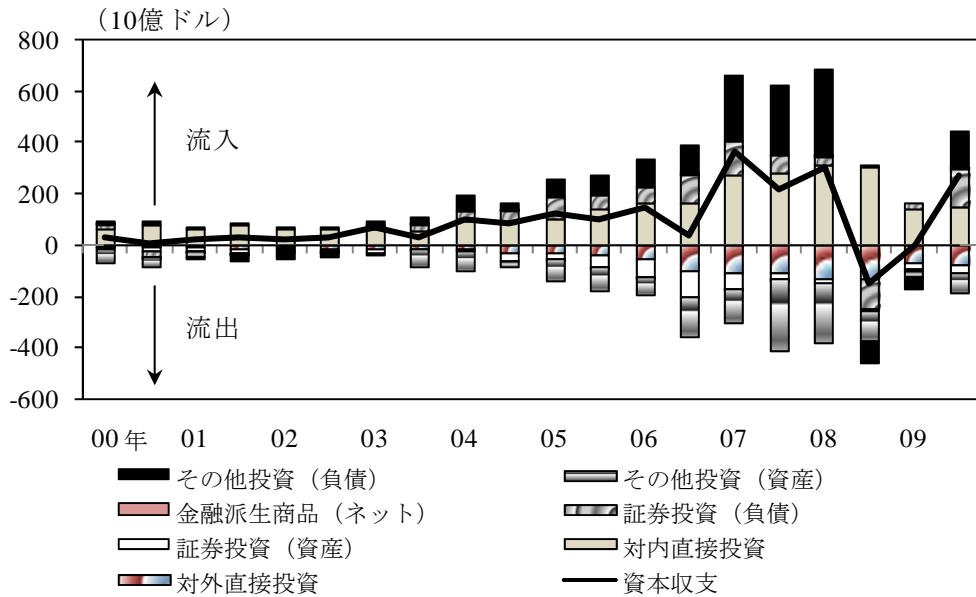
(図表 11) 世界における銀行の対米与信残高の推移 (セクター別)



(注) 最終リスクベース。直近の値は、2010年第2四半期。

(資料) BIS「国際与信統計」

(図表 12) エマージング諸国の資本収支

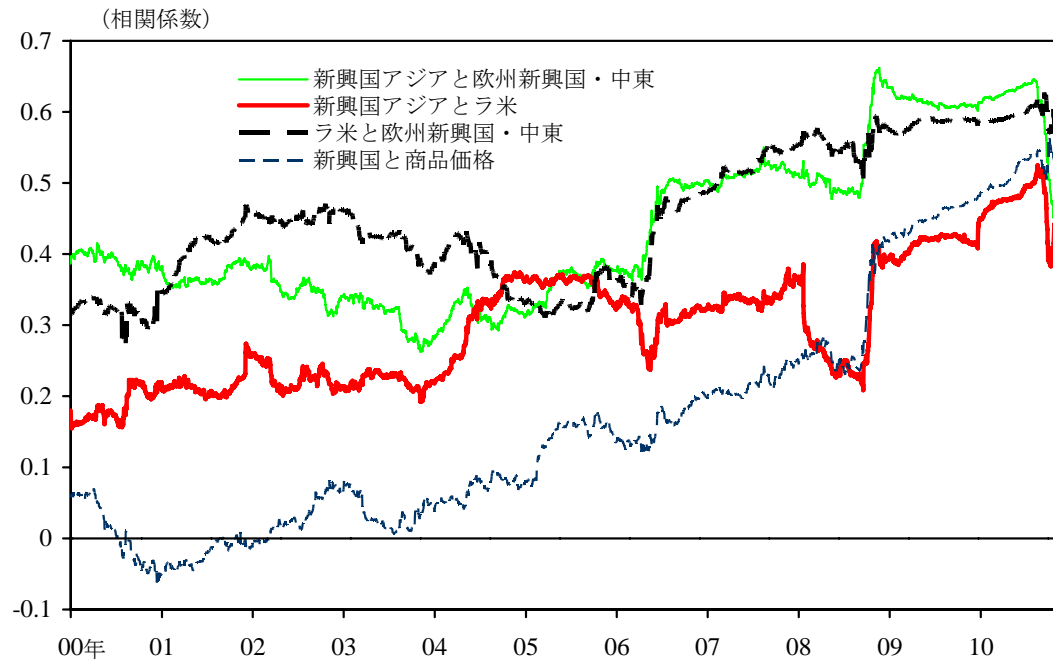


(注) 次の30か国の合計。中国、インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム、バングラデシュ、インド、パキスタン、スリランカ、カザフスタン、ハンガリー、ブルガリア、ルーマニア、ポーランド、ウクライナ、ロシア、トルコ、アイスランド、アルゼンチン、メキシコ、ブラジル、パラグアイ、チリ、ペルー、コロンビア、ウルグアイ、ベネズエラ、南アフリカ、およびサウジアラビア。

2005年以前の計数はサウジアラビアの計数を含まない。数値は半期ベース。

(資料) CEIC

(図表 13) エマージング諸国株価と国際商品市況の相関



(注) 相関係数は各地域の MSCI (Morgan Stanley Capital International) index と S&P GSCI (Goldman Sachs Commodity Index)を用いて計算。各時点において、過去 500 営業日の日次リターンの相関の水準をプロットしたもの。直近の値は、2010 年 11 月末。

(資料) Bloomberg